

スズムシコーラス隊 絶好調ってどんな時？

熊本市立楠小学校 6年 高野 倅暉

1 研究の目的

僕はスズムシを本や画像で見たことはあったが実際に見たことはなかった。店に見に行ったらとてもきれいな鳴き声だったので育ててみたいと思った。そこで、スズムシはどんな時に鳴き、またどのような条件がそろったら、きれいな鳴き方をするのか調べることにした。

2 研究の方法

- (1) メスがいなくてもオスは鳴くのかを調べるために、オス3匹とメス3匹を虫かご2つに分け、隣合せにしたり離したりする。数日後、オスとメスを同じ虫かごに入れた時との違いを観察する。
- (2) スズムシが鳴く条件を調べるために、1日の中で一番鳴いている時間、天気、気温、湿度を記録する。
- (3) よく鳴いた時で1分間に何回鳴いたのか数えて記録する。
- (4) 夜行性だが、夜以外にも鳴くのか、また鳴くとしたら鳴き方に違いがあるのか観察する。
- (5) 音に反応するのか色々な音を鳴らして試してみる。(風鈴、ベル、口まね、ドライヤー、ドアの音)
- (6) スズムシの体を観察し、エサを色々与えてみた。(エサ・・・なすび、魚粉、メダカのエサ、金魚のエサ、かつおぶし、キャベツ、スズムシ用の野菜ゼリー)

3 研究の結果と考察

【研究(1)から】 メスがいなくてもオスだけでも鳴くが、オスをメスと同じ虫かごに入れると鳴き方に変化がありとてもきれいだった。これはメスを呼び寄せるために鳴いていると考えた。

【研究(2)～(4)から】 気温、湿度の変化にあまり関係なく、風通しがよく涼しいと感じられる時には夜行性だが、少し明るい昼でもエサを食べるし、また時々鳴いたりした。(しかし夜に比べると鳴き方も少ないしあまり上手ではない。)逆に夜でも熱がこもって風通しの悪い時は全く鳴かなかった。あまり暑くない夜や涼しい明け方にはよく鳴くし鳴き方も上手だった。スズムシは熱のこもった暑い状態が苦手だと考えた。

【研究(5)から】 音に反応していると思った。それはお母さんがドライヤーをかけだすと鳴き始めることが多かったからだ。それから風鈴やベル、口まねやドアの音を試してみた。風鈴がよいのではないかと思ったが、一番反応がよかったのはベルの音だった。指でチンチンチンと鳴らすと反応して鳴くことが多かった。これは自分の存在をアピールして競っていると考えた。

【研究(6)から】 触覚とおしりが白かった。おしりには針のような物があり、オスは2本、メスは3本あった。メスの体は細くオスの体は幅広く羽も大きかった。オスは鳴くために羽が大きいのだと考えた。エサも色々やってみた。一番好むエサはナスだと予想していたが、実際は魚粉だった。魚粉は匂いも強くたんぱく質もあるので好んだと考えた。